

## 人事委員会議事録（第1667回）

### 1 開催日時

令和3年9月2日（木）15：00～15：40

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	吉川昭裕	給与課長
	岡野揮代美	任用課副課長兼給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1666回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

### 第2号議案

#### 資格免許職採用試験最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（9月3日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

看護師採用試験の実施を病院局に委任しているが、臨床検査技師など病院勤務の資格免許職も同様に委任しないのか。

（事務局）

採用試験は人事委員会が行うものであるが、看護師は採用人数が多く、途中退職も多いことから、年に複数回の試験を実施することで機動的な採用ができるよう病院局に委任している。

（委員）

今回は全職種で最終合格予定数を確保できたが、保健所は人員不足で、短期雇用の会計年度任用職員の募集も行っている。採用が困難な職種では、不合格者個人のメールアドレスあてに他の募集情報等を提供することはできないのか。

（事務局）

教員採用試験では不合格者に臨時講師の募集情報を提供しており、同様の対応が可

能か検討する。

### 第3号議案

#### 社会人経験者採用試験実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

就職氷河期世代への対応はいつまで続けるのか。一気に採用してしまう方がいい人材を囲い込めるし、手間も省けるのではないか。

（事務局）

国は、令和2年度から3年間で就職氷河期世代支援を目的とした採用試験を行うとしているが、本県は令和元年度から実施しており、今年が3年目となる。来年度以降は、経験者採用試験と統合して対象年齢を広げることも含めて検討したい。

（委員）

統合すると、薄まってしまうのではないか。別枠で年齢を限定した方がいい人材が集まる可能性もあるので、よく検討してほしい。

（委員）

令和元年度は試験実施団体が少なかったため応募者が殺到したが、昨年度は多数の自治体を実施するようになったため応募者が減少した。優秀な人材を確保するため、広報活動をどのように行うのか。

（事務局）

県関係機関への試験案内の配布に加え、兵庫労働局や県の雇用対策部門と連携して、ハローワーク、地域若者サポートステーションなど、就職氷河期世代支援に関わる就労支援機関に重点的に広報を行う予定である。

（委員）

不本意な業種や企業で正社員として勤務している者に対しては、経験者採用試験と同様に、転職支援サイトを活用した広報が効果的と考えられるので検討願いたい。

閉 会